

発行日 平成26年10月1日
 発行人 長野県飯山北高等学校
 桂蔭会長 森 司朗
 編集責任者
 大熊文久 斎藤秀夫 小林 至
 小出一也 木村 徹 久保雄介
 印刷所 中央堂印刷社

飯山北高校・飯山高校の 同窓会の統合せまる

飯山高校舎完成 歴史的な引越し 校銘板除幕式
 飯山高校生入学 北高生飯山高生合同事業 同窓会統合

桂蔭会長 森 司朗
 (昭二七年・第四回卒)



飯山北高の第一体育館・プール・第一グラウンド跡地に飯山(新)高等学校の新校舎が完成し引き渡しが行われました。それが昨年9月下旬、さらに10月5日(土)には全校生徒・全職員・PTAの方々と歴史的な引越しが旧校舎から新校舎へと行われました。在校生はもちろんのことPTAの方々もトラックを持ち込み重い棚や机等献身的にお手伝いしていただきスムーズに滞りなく終了したとのこと。引越した先立ち10月4日(金)には約半世紀の長きにわたり数多くの北高生が学んだ旧校舎お別れ会が生徒会主催で行われました。旧校舎に対

する感謝の思い出を全生徒、全職員が共有できた心に残った素晴らしいお別れ会になったとお聞きしております。県下最大級の新校舎は北側に特別教室棟、中央に管理棟及び普通科・スポーツ科学科棟、南側には探究科棟、さらに管理棟と探求科棟を結ぶ連絡通路は図書館棟と呼ばれ、1階は自由活動コーナー、2階は図書館、3階は視聴覚教室兼大講義室となっております。自由活動コーナーは購買があり、由活動コーナーは購買があり、屋には業者が入りお弁当が販売され、卒業記念として贈られた机が並べられ生徒の学習スペースとして、生徒会活動の場として、多目的に利用されているとのこと。3階にある視聴覚教室兼大講義室には旧校舎職員玄関正面に飾られていた犬養毅書「弗為胡成」(なすぎずんば、なんぞなら)が掲げられています。また正面玄関には県職員の有志の皆さまより桂の木の一枚板に「弗為胡成」の文字を本物と同じように刻んだ木製額を

統合記念に贈呈していただきました。この紙面をお借りし皆様にお伝えするとともに御礼申し上げます。この視聴覚教室兼大講義室は1学年の生徒全員が机に座り収容できる広さを誇るそうです。大型スクリーン、スピーカー等充実した視聴覚装置で、2学年の研究旅行講演会、1・2学年の科の課題研究発表会、3学年の模擬試験等が行われ、今後とも様々な場面で活用が期待されているそうです。校舎全体を見学すると有に30分以上必要となります。生徒にとっても素晴らしい学習環境を与えていただき感謝あるのみです。平成26年度の4月1日(火)には、長野市在住で活躍しておられる書家の小山紅苑様に書いていただきました二次統合校の校銘板除幕式が行われ、新しい歴史の船出にふさわしい素晴らしい会となりました。さらに4日には始業式、5日には飯山市民会館かまくらホールにて入学式に先立ち飯山高校二次統合開始式が長野県教育委員会教育次長菅沼尚様ご出席のもと行われました。引き続き行われました、入学式では両校の同窓会長が出席し新入生を激励いたしました。ご承知おきのことと思えますが1年生は飯山高校、2・3

年生は飯山北高と別の名前を持つ学校に所属することになります。二ノ宮校長は一学期始業式で「学校とは何によって判断され、何によって表現されるか。」(What is a school?)という英語の諺を用いて問いかけられたそうです。これから新しい校舎で学校生活を一緒に過ごせば、2・3年生が北高の先輩から引き継いだ桂蔭魂は確実に1年生に引き継がれさらには飯山高校が融合することですばらしい伝統を築いていくことを願っております。桂蔭会ふるさとの「意志ある学び」2013の成果報告が新校舎の大講義室で4月12日(土)に開催されました。基調講演会には東京大学社会科学研究所教授 宇野重規先生に起こしいただき「希望学で拓く北信州の未来」飯山高校と「意志ある学び」のこれから」をテーマにご講演をいただきました。「ふるさとの「意志ある学び」2013」の成果報告としまして「新幹線北陸延伸をメリットとして活かす観光・まちづくりプランニング」続：ふるさとの「意志ある学び」で拓く北信州の未来プロジェクト」の報告をし宇野先生からご助言をいただきました。その後宇野重規先生、小布施町地域創造研究所研究員の大宮透さん、本校のOBで桂蔭会員の、(株)地元カンパニーシステムエンジニア(平成17年・第57回卒)山崎一也さん、金沢大学地域創造学類4年(平成21年・第61回卒)佐々木絢也さん、飯山高校校長(昭和51年・第28

回卒)渡辺藤夫さんをパネリストに迎え「希望を育て地域を拓くために必要なこと」をテーマにパネルディスカッションを行いました。探究科の生徒にとって地域の問題に目を向ける機会となり、興味関心を喚起し課題研究の一ターマの場となったことと存じます。改めて宇野先生を初めに参加された先生方に御礼申し上げます。4月に入学いたしました飯山高校の入学生は、SSHの取り組みのひとつである飯山の自然を題材にした自然観察フィールドワークを飯山高校南キャンパスで過ごすスポーツ科学科の生徒と合同で実施いたしました。探究科の生徒は昨年同様になく高原森の家と、普通科・スポーツ科学科の生徒は斑尾高原山の家と連携し実施したとお聞きしております。合同行事を重ね9月の中間テストは南キャンパスのスポーツ科学科の生徒が、北キャンパスの1年生と交流を持ちたいの思いから北キャンパスで実施するお聞きしております。また、体育館が1日でも早く竣工することを望むばかりです。さて、昨年度同窓会統合の準備段階での2回の調整会議を経て同窓会統合準備委員会が立ち上がりました。2回の同窓会統合準備委員会を経まして、以下の到達点に達しま

したことをご報告申し上げます。昨年の会報では会費に関する校の徴収方法を採用することが確認されました。今年度から具体的な徴収方法としまして、平成26年・27年・28年度は統合移行期といたしまして

平成24年度 桂蔭会決算報告(昨年度桂蔭会総会で承認されました)

(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

収入総額	8,100,840円	支出の部	
収入の部		事務費	146,658円
緑越金	2,350,055円	情報処理費	683,623円
会費	5,325,000円	会報発行費	1,369,652円
支出総額	5,076,138円	入会金	314,000円
差引残高	3,024,702円	雑収入	102,285円
		スクールバス補助	796,815円

平成26年度 桂蔭会総会案内
 平成二十六年年度の総会を以下の日程で開催します。
 会員の多数の参加をお願いいたします。
 一 日時 十一月一日(土) 十四時
 二 会場 ほていや
 三 平成二十五年年度 会務・決算報告
 平成二十六年年度 会務・予算(案)

ご挨拶

学校長 二ノ宮 邦彦



は、現飯山高校同窓会の運営費確保のため、1年次積立金のうち8,000円を飯山高校同窓会へ入金すると確認いたしました。また新同窓会の規約につきましては、暫定版が完成しており運用しながら確定版を作成していく予定です。いよいよ同窓会の統合が本格化する中で、今後行われることを簡単にご報告させていただきます。飯山北高校桂蔭会関係では平成28年3月には北高の完校(閉校)式典が、4月に入りましては飯山高校として入学式に先行して二次統合完成式、また、5〜6月頃には二次統合完成式並びに校舎竣工式等の記念行事を執行する準備を始めた所です。細部の部分では両校の同窓会の支那の件、教育支援活動(ローレルアカデミー)等についての方向性等検討していく所存です。桂蔭会員の皆様には様々な場面でご意見や御協力をいただくと思いますがよろしく御願い申し上げます。また飯山北の同窓生すべてを載せた114周年及び完校記念『桂蔭会名簿』の発刊を予定しております。

最後にありますが、桂蔭会の皆様の熱い思いに添えるべく、飯山高等学校の同窓会と協力しつつ、両校の伝統を継承し、より発展した飯山(新)高等学校の同窓会づくりを邁進する所存です。改めて皆様のご協力ご支援をお願いするとともに、皆様のご健勝と飯山北高等学校並びに飯山(新)高等学校のますますの発展をご祈念申しあげつつ、ご挨拶とさせていただきます。

桂蔭会同窓生の皆様には、益々ご健勝で活躍のことと拝察いたします。日頃から本校の教育活動に深いご理解とご支援・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。さて、本年4月1日、春の素晴らしい天気恵まれ、宮本衡司県議、森司朗桂蔭会会長、米澤前校長先生はじめ多数の関係者が見守る中で、「長野県飯山高等学校」の校銘版が除幕されて、本校にとっても歴史的な平成26年度が始まりました。さらに、4月5日には飯山二次統合校開始式に続き、厳かな雰囲気の中で新飯山高校生242名が呼名され、渡辺藤夫飯山高校長の入学許可がなされました。この日から飯山北高校も飯山高校北キャンパス生として1年生(普通科3クラス、探究科2クラス)を迎えることになりました。その際、飯山二次統合校が始まるにあたり、小生が述べた「開式の辞」を、同窓生の皆様にもご紹介したく、少々長くなりますがそのまま引用したいと思います。

『明治三十六年五月三十日、飯山北高の前身である長野中学飯山分校の開校式において、入学生の惣代として石田次郎さんが述べた祝辞は次のようになっています。』
「維新以来文運騒々として其の歩を進め、都鄙庠序の設けあらざるなく、十戸の邑なお伊唔の聲を聞く。然れども中等教育に至っては未だその設置完しというべからず。只僅かに著名の都邑に見るあるのみ。現代語で解釈すると、「明治維新以来、世間では学問の気風が高まり小さな田舎の村でも書物を読む声が聞こえるが地方ではこれまで中学校で高度な教育を学ぶことはできなかった」という意味になります。この明治三十六年五月三十日は、ようやくここ飯水岳北の地に中等教育の光がさした歴史の日でもあります。また、奥信濃の発展を託せる人材を養成する学びの拠点の設立を求めて、早くから活動を続けた先人たちの熱意ある努力が結実した日でもあります。石田さんは、さらにその祝辞の後半で「鋭意専心知徳を磨き、いよいよ身体を練り、入っては則ち校風的美をなし、出でては則ち国民の中堅となり、以て社会改進の責務を全うせんことを期す。」とこの地で学ぶことができる喜びを語り、そして今後の学びへの希望と決意をこのように力強く宣言しました。

その開校式以来、百十二年の時を経て、本日再びこの地は歴史的な日を迎えています。この間、下水内高等女学校が誕生し女子中等教育の門戸が開かれ、定時制課程を有する分校が開校し、奥信濃の最北地域の青少年に対しても学びへの道が開かれました。以来、飯山北高校、飯山南高校、飯山照丘高校の三校に名前を変え、独自の伝統を積み重ね、それぞれの使命を担い、それぞれの高校が地域社会を始め広く国の内外に多くの人材を輩出してまいりました。そして時代の変遷を経て、平成十九年には飯山高校が開校し、本日、平成二十六年四月五日、いよいよ二次統合が開始されます。

独自の長い歴史的背景と輝かしい伝統を持つ三つの高校が、一つになり、それぞれの使命とDNAを継承しながら、未来を担う有為な若者の育成をめざし、今まさに新生飯山高校としてスタートしようとしています。

明治三十六年、多くの人々の期待と祈りの中、この地域に教育の希望の光がともされて以来、輝き続けているその光が、今後も益々強く熱く輝くことを祈念して、ただ今より、飯山二次統合校開始式を挙行いたします。』

へんの道が開かれました。以来、飯山北高校、飯山南高校、飯山照丘高校の三校に名前を変え、独自の伝統を積み重ね、それぞれの使命を担い、それぞれの高校が地域社会を始め広く国の内外に多くの人材を輩出してまいりました。そして時代の変遷を経て、平成十九年には飯山高校が開校し、本日、平成二十六年四月五日、いよいよ二次統合が開始されます。

独自の長い歴史的背景と輝かしい伝統を持つ三つの高校が、一つになり、それぞれの使命とDNAを継承しながら、未来を担う有為な若者の育成をめざし、今まさに新生飯山高校としてスタートしようとしています。

昭和58年度(昭和59年3月)卒業生 卒後30周年記念同窓会開催

卒業後30年を迎えた私共、昭和58年度(昭和59年3月)卒業生は、猛暑の8月2日(土)に飯山「ほていや」にて記念の同窓会を96名の参加者を迎え盛大に開催いたしました。



4名の恩師も来賓としてご出席くださり、昔話に花が咲き、あっという間に時間が過ぎてしまいました。クラスや部活ごとに記念写真を撮り、最後には全員で校歌を合唱して閉会となりました。その後はクラスごと二次会まで楽しい一時を過ごしました。高校時代を思返しながら、少し参加できなかった方も、大勢いっしょに元気があつた。10年後にも!! 5年後に!! 実行委員会 事務局 松浦博之

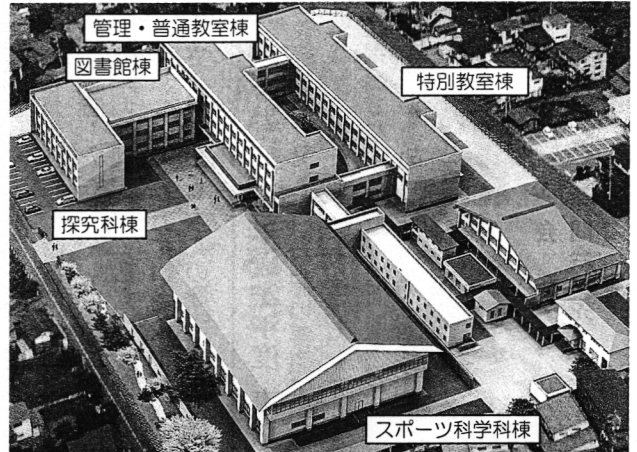
三校合わせて260年を超える歴史を引き継いだ飯山(新)高校が始まる！ 高校再編係

* 統合は一斉統合ではなく、年次統合で行われます

平成 26 年度 4 月入学生から、二次統合校、飯山(新)高校が始まりました。平成 25 年度の入学生までは、飯山北高校・飯山高校の生徒として入学し、それぞれのキャンパスで過ごし、それぞれの高校で卒業します。

* 県下最新・最大級の規模の新校舎

昨年 9 月末にした新校舎は延べ床総面積が 1 万 m²にも及ぶ県下最新・最大級の校舎です。スポーツ科学科棟は平成 27 年 12 月に完成予定です。



平成 26 年 8 月末スポーツ科学科棟建設現場 (管理普通教室棟 4 階東側窓より撮影)

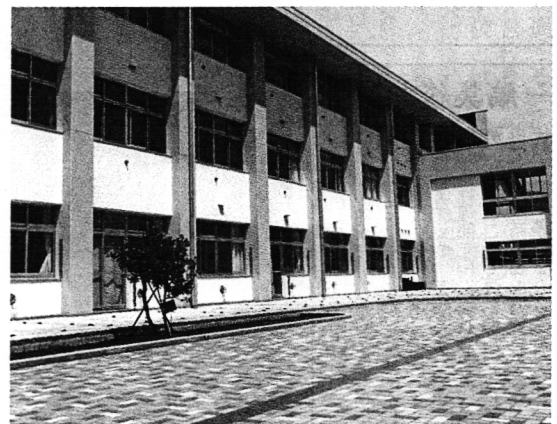
* 今後の部活動について

下の図は、両校共通の部活動の活動予定です。運動部は、平成 26 年度高校総体までそれぞれの学校で練習を行い大会に参加することを基本とします。

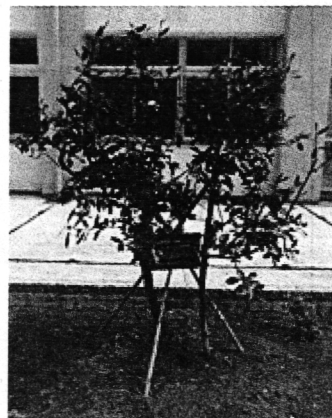
それ以降は、部員数や練習場所の状況に応じて練習や大会参加を合同で行う予定です。陸上や弓道など個人で出場可能な競技に関しては、平成 27 年度までそれぞれの学校で出場する予定です。また文化部 (同好会) は、統合に向け、できる限り合同で活動を行います。

【両校共通の部活の活動予定】

		平成26年度			平成27年度			平成28年度					
		4	7	11	3	4	7	11	3	4		7	11
スキー	練習	北キャンパス生は北高と合同											完全統合
	大会	各校別 (飯山・飯山北)											
野球	練習	各校別											
	大会	各校別											
女子バレー	練習	各校別											
	大会	各校別											
男子バスケット ソフトテニス	練習	できる限り合同											
	大会	できる限り合同											
女子バスケット	練習	できる限りキャンパスごと											
	大会	できる限り各校別 (飯山・飯山北)											
サッカー	練習	できる限り合同											
	大会	合同で参加する											
バドミントン	練習	できる限りキャンパスごと											
	大会	女子は各校別・男子は合同で参加											
弓道	練習	できる限りキャンパスごと											
	大会	各校別											
陸上	練習	合同で練習 (ただし泳 科、平日は南・休日合同)											
	大会	合同で参加											
美術 吹奏楽 等	練習	合同活動を目指す											
	大会	合同で参加											



写真上
新校舎に設置された中庭。生徒たちの憩いの場や文化祭のイベントの場として利用



写真左
旧校舎敷地から新校舎中庭に移植された飯山北高校校章の『桂』の木

支部活動リポート 東京・関東支部だより

平成二十五年度 東京・関東支部役員会報告

長 坂 邦 彦 (高六回卒)

晩秋の11月10日(日)、東京市ケ谷のアルカディアで各学年代表35名が出席して東京・関東支部役員会が開催された。

2年前に支部規約を改定し支部総会と支部役員会を隔年で開催することになり、今年役員会開催年度である。まず副支部長の高橋彰氏(高24)のNHK調の流暢な司会で始まった。

野口支部長が体調不良で欠席されたので、宮崎副支部長(高10)が代行して開会挨拶、続いて長坂本部副会長(高6)が支部報告を行った。8月に行われたホームカミングデーで飯山北高の校舎見学と10月の飯山高校の新校舎見学時に撮影した校舎の写真を紹介した。また、北高の活発な外部への参画として、社団法人北陸地域づくり協会への研究発表と渋谷の東急ヒカリエで開催された「信州若者1000人会議」への参加を紹介した。また長野県の高校統廃合状況や北高の卒業生の進路状況を報告。そして北高の校長室に掲出されている犬養毅元総理揮毫の「弗為胡成」(なさはずんば、なんぞならん)を解説説明し、会場の参加者から初めて意味がわかったとの声も聴かれた。

本年度からの新支部長と主要役員の出選に入り、宮崎支部長代行

から推薦理由と具体的な人選を発表し全会一致で承認された。会計の江口徹氏(高11)からの報告と監査の岡田庸利氏(高8)の監査報告が承認された。

選出された青井(旧姓岡村)新支部長(高19)から先輩の知恵を借り、若い会員を増やし新しい同窓会に対応したいと力強く挨拶された。

その他事項として現世話人の江沢岸生氏(高24)が26年9月の飯山市長選に立候補を予定しているが、同窓代表の宮崎氏と後援会長の池川信夫氏(中37)の推薦挨拶があった。

懇親会は弁当を食べながらの懇談でしたが、乾杯は文化学園理事長、私立大学協会長として活躍されている大沼淳氏(中39)。しばらくの歓談飲食の後、長坂が作成

平成26年度 東京・関東支部総会のご案内
下記の要領で開催いたしますのでご参加下さい。後日、学年幹事より案内ハガキが届きます。

記

日時 平成26年11月16日(日) PM3:00~6:00

場所 アルカディア市ヶ谷

講演 「もの造り40年」

会場 元ソニー(株)英国ブリジエント工場長 常田哲夫氏(高6)

会費 9,000円

問合せ先 東京・関東支部副支部長 阿部靖典

☎043123313834

した「高社山と千曲川」の写真に「北高校歌」と島崎藤村の「破戒」と「千曲川のスケッチ」の飯山描写の部分印刷したハガキ大の写真を全員に配付し、今回から世話人として参加した山城弘枝さん(高30)が朗読し、最後に校歌の斉唱となった。

新飯山高校同窓会に向けて、新支部長、役員、世話人の活躍を期待したい。

平成26年度支部役員は次の通り

支部長 青井 富雄(高19)

副支部長 高橋 彰(高24)

福祉支部長 阿部 靖典(高31)

会計監査 岡田 庸利(高8)

世話人 山城 弘枝(高34)

本部副会長・代議員 長坂 邦彦(高6)

退任

支部長 野口規久男

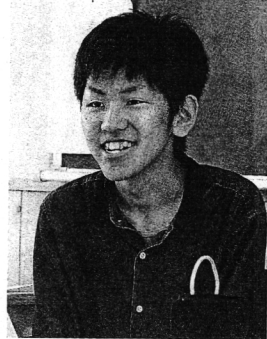
副支部長 宮崎 晋

副支部長・会計 江口 徹

北高生は今…

飯山北高「桂蔭会」

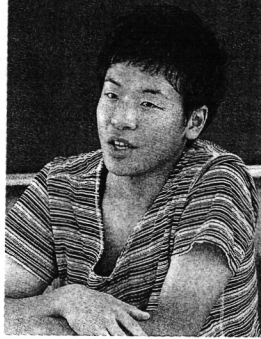
ローレル夏期大学



高橋さん



山本さん



滝沢さん

卒業生3人 8人を取材

成果報告会

具体化させる取り組みとして、千曲川(信濃川)の上流から下流までの広範な地域で活躍する「意思ある人々」との交流を促す「ドック」(仮)の企画が、ウエブ版の観光・まっくら案内を試作することとしている。

そして3人は今回、持続可能な地域社会を築くためには「若者や女性が活躍できる社会」であることが必要との観点から、そうした社会を目指して積極的に活動している「人」に着目。またそれぞれの「人」は固有の資源であり、魅力ある「人」を紹介することで地域の情報発信にもなる。県内外の8人を16日から18日までの3日間取材した。

報告会では、みゆき野青年会議所メンバーや木島平村を訪れている金沢大学の学生を前に取材の成果を披露し、その後に意見を交換。交流人口を定住人口に変えていくためにはどうしたらいいかについて討論した。

桂蔭会では活動を通して得られた成果が同校探究科の課題研究に影響を与えるとともに、第2期「ローレル」サイエンスハイスクールのモデルにもなり得るのではいかと期待している。

編集後記

今年度から1年生は飯山高校、2・3年生は飯山北高校と別の名前を持つ学校に所属することになりました。2年間の期限付きとはいってもいささか心配しましたが、生徒は上手にやっています。クラブ活動も野球部を例に取れば県大会出場を決め、後はどこまで勝ち進んでくれるか楽しみです。桂蔭会員の方で外部から問い合わせがある分野の事を聞かれる事が多いです。現在様々な行事では飯山北高と飯山

高校の両校校歌が歌われます。運動部の壮行会では飯山北の応援歌も歌われます。このような環境で校歌が歌い継がれていけばと思う次第です。支部の総会等ありましたら飯山北高校内の桂蔭会事務局までご連絡いただけます。支部に限らず同窓会等でもかまいません。飯山にお越しの際は新しい校舎の見学において下さい。お待ちしております。